

2015 Japan National Team Report ”選手”



報告者	クラブ 海陽海洋クラブ 学年 中3 氏名 山田 大夢		
大会名	2016 北米選手権		
開催地	アンティグアバーブーダ		
大会期間	2016/07/10~07/17		
セールNo	3171	最終順位	128位

- 帰国後1ヶ月以内に、チームでまとめた上、海外派遣担当までメールにて送付して下さい
- JODA理事会にて確認の後、ホームページに公開します
- 記入時の注意点
 1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
 2. なるべく詳細に記入して下さい
 3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述はしないで下さい
- 写真資料について
 1. このレポートを補足する資料として必要な場合は、文中に貼り付けて下さい
 2. 他国のOP艇を接近して撮影することを禁止します

気温、水温、ウエアについて	気温・水温は毎日あたたかかったです。 風も暖かかったので波をかぶっても寒くなく、パッドジャケなどはいりませんでした。
海面(湖面)の特徴や風の傾向	風は島に当たり角度が沖と岸側では違っていました うねりが大きく白波に突っ込むと艇を壊しそうでした 沖に行くとき上マークへのアプローチの時にバダーが強なっていました スタートしてから岸側へいくとリフトがはいってきました。
セッティングで注意したこと	風が毎日、中風ぐらい吹いていたのでマストのがらみは毎日調節していました。
セーリングで注意したこと	波にたたかれたり、おしかえさえたりしないようにマイクアウトをして フラットにしています。
海上で練習したこと	スターボとポートで艇を半分に分けてマークへ向かいどちらが有利か調べた。 他のチームと流しをやったりしました。

実際のスベリはどうでしたか？	
スタートは、どうでしたか？	最終日はいい位置からのスタートができたけどあとのレースでは真ん中スタートが多かった。
コース戦略はどうでしたか？	島にぶつかり角度が変わる風をうまくつかめず前へいきませんでした。
自分より上位の選手との違いは？	体を動かしていてメインのドリムも自分よりやっていた。
国内の練習で役立ったこと	基本動作の練習とレース練習
国内の練習で足りなかったこと	チームレースの練習
印象に残った外国選手は？	2位のアメリカの選手 彼は小さい体で大きく動きスタートも白石さんが言っていたポートから20秒くらいに効いてスタートラインに並ぶというスタートをしていました。
行く前と、行ってからで違ったことはありましたか。	たくさんの選手に会って自分に足りないものがたくさん見つかりました。
今後の課題と目標は？	OPIはこれで終わってしまうので、今回で得た課題を次こいかしていきたいと思います。
JODAへの要望	
その他	

ご協力ありがとうございました

JODA 海外派遣委員会